For the English Quick Reference, see the reverse.

プラグイン形 2ch デジタル指示調節計

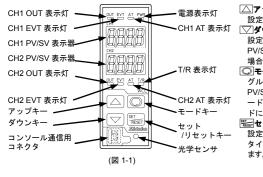
## クイックリファレンス

## WCL-13A

No. WCL11JE4 2018.05

WCL-13A(以下,本器)の詳細な使用方法およびオプションについては、WCL-13A 取扱説明書を 参照してください。WCL-13A 取扱説明書は、下記弊社 Web サイトよりダウンロードできます。 http://www.shinko-technos.co.jp→ダウンロード→取扱説明書ダウンロードページをクリック

## 1. 各部の名称とはたらき



#### △アップキー 設定値の数値を増加させます。

2.2 タイマ仕様の場合

CH1 入力

PV/SV 表示モードで、このキーを押している間、PV 表示の 場合 SV を、SV 表示の場合 PV を表示します。 グループ選択を行います。

PV/SV 表示モードで、このキーを 3 秒間押すと、MV 表示モードに移行します。再度このキーを押すと、PV/SV 表示モー ドに戻ります。 **覧記セット/リセットキー** 

CT入力

電源電圧

RS-485 +

No. 6 COM

(図 2.2-1)

モジュラジャックピン配列図(調節計側の配列です)

No. 1 No. 2 NC
No. 1 No. 6 No. 3 YB(+)
No. 6 No. 5 NC

RS-485[シリアル通信(オプション: C5)]

(\*2): コンソールソフトのブロック機能でカスケー ド制御仕様選択時, CH1 SV がスレーブ側の AT ポイントとなります。 ----設定モードの切替え、設定値の登録を行います。 などと「Wowled」、放送他の登録を刊いなす。 タイマ仕様の場合、制御タイマ機能時、タイマ動作をリセットします。

CH1 出力

りって出力

- 外部設定スケール下限値~ 外部設定スケール上限値 差分(加算)および基準入力が DC 入力の場合 CH1 差分(加算)表示下限值~ CH1 差分(加算)表示上限值
- (\*3): タイマ仕様の場合、またはコンソールソフト のブロック機能で加熱冷却制御出力仕様もし くは外部設定入力仕様選択時、この設定項目 はありません。 送分(加算)および基準入力が DC 入力の場合 CH2 差分(加算)表示下限値~ CH2 差分(加算)表示上限値
- (\*4): 制御禁止を選択した場合, 電話キーを押すと,
- (\*5): 自動制御を選択した場合, この設定項目はあ りません。
- 自動制御時の MV が初期値になります。
- (\*6): 手動制御操作量設定後、 電流キーを押すと、 手動制御モードに戻ります。 (\*7): AT/オートリセット実行を選択後、電子+一を
- 押すと、PV/SV表示モードに戻ります。 (\*8): スケーリング巾に対応します。
- 差分(加算)および基準入力が DC 入力の場合, 差分(加算)表示巾に対応します。 (\*9): タイマ仕様もしくはポテンショ入力仕様の場 合またはコンソールソフトのブロック機能で 加熱冷却制御出力仕様もしくは外部設定入力 仕様選択時,この設定グループはありません。
- (\*10): 固有機能設定グループ内の表示器選択で CH1 差分値(加算値)または CH2 差分値(加算値)を 含む項目を選択した場合、PV/SV表示切り替えはできません。
- (\*11): タイマ仕様もしくはポテンショ入力仕様の場 合またはコンソールソフトのブロック機能で 加熱冷却制御出力仕様選択時、この設定グル ープはありません。
- (\*12): コンソールソフトのブロック機能で外部設定 入力仕様選択時、入力種類選択後際ニニキーを 押すと、PV/SV表示モードに戻ります。
- (\*13): 赤外線熱電対入力以外の場合, この設定項目
- (\*14): 差分(加算)で基準入力が DC 入力以外の場合, この設定項目はありません。 (\*15): 外部設定スケール上限, 下限設定は外部設定
- 入力仕様、カスケード制御仕様およびポテンショ入力仕様共通に表示する設定項目です。 (\*16): ポテンショメータ入力ゼロ調整方法
- ポテンショメータを MIN 側(反時計回り)に 「日盛範囲の最小値まで回し、「▽」キーを押してください。ポテンショメータ入力ゼロの 自動調整を行います。
- ポテンショメータ入力スパン調整方法 ポテンショメータを MAX 側(時計回り)に目 盛範囲の最大値まで回し、 〇十一を押して ください。ポテンショメータ入力スパンの 自動調整を行います。

## 4. キー操作フローチャート

・左側上段は CH1 PV/SV 表示器で設定キャラクタ を、左側下段は CH2 PV/SV 表示器で工場出荷初

・点線で囲んだ設定(選択)項目は、オプションを付

・ で囲んだ設定(選択)項目は、コンソール ソフトのブロック機能でそれぞれの仕様を選択し

[キー操作について]
・ ↓ □ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ □ :
□ キーまたは □ ニキーを押すと、矢印の項目に移

各設定項目において、 (二)キーを3秒押し続ける

(\*1): ポテンショ入力仕様の場合, この設定グルー

SET

・右側は、設定(選択)項目名を表しています。

加していない場合表示しません。

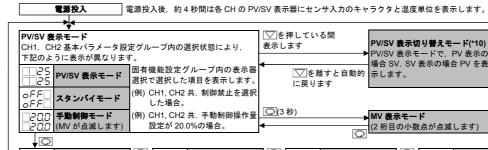
ていない場合表示しません

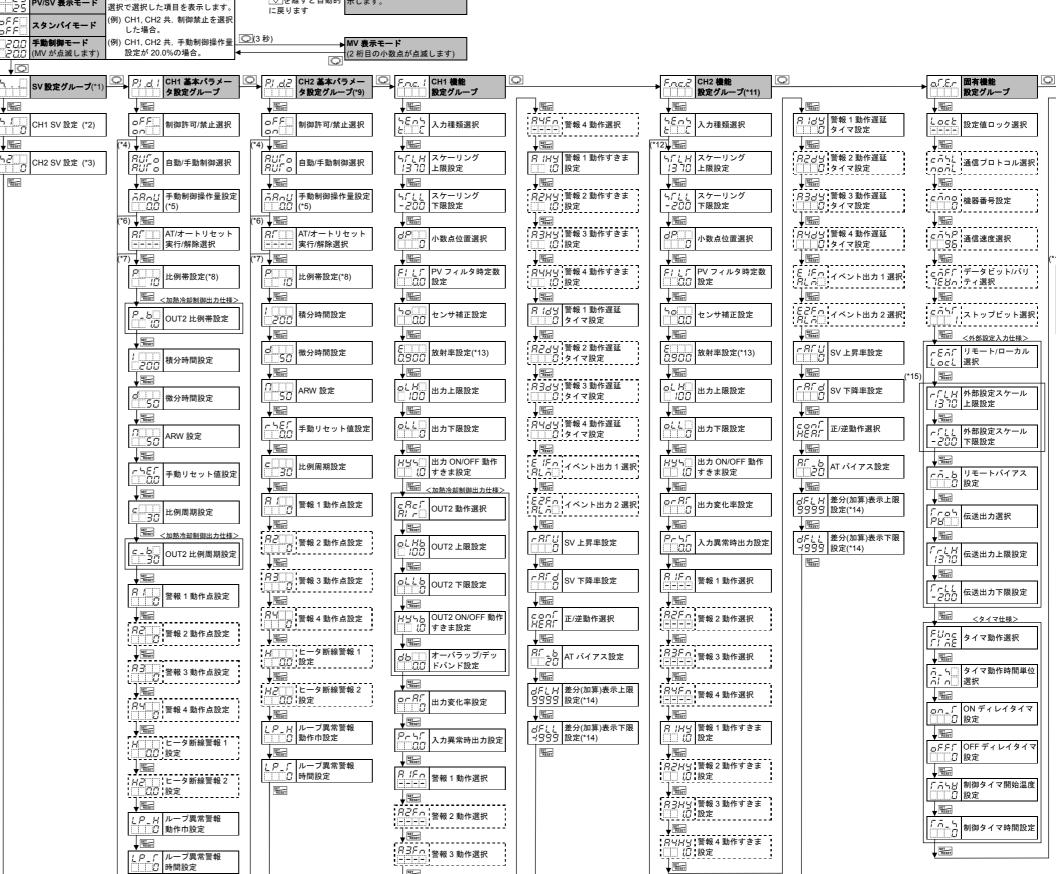
行することを表しています。

プはありません。

と PV/SV 表示モードに戻ります。

期値を表しています。





自動調光機能選択

表示器選択

表示時間設定

- 🖟 入力サンプリング

| EET | <ポテンショ入力仕様>

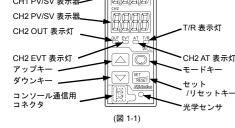
| *〜PP* ポテンショメータ | *|370* 入力スパン調整

ポテンショメータ 

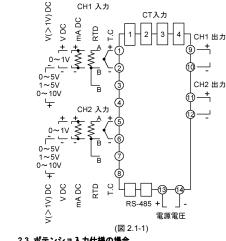
125 選択

御許可/禁止選択		/ ⅓@[ 70~105°C -50~500°C	HL 上下限警報動作	しっころ ロック3	タイマ動作選択	入力サンプリング選択
コロ 制御許可	上 F K -320~2500°F	/ /2℃ 90~120°C -50~500°C	□: □: □: □: □: □: □: □: □: □: □: □: □: □	通信プロトコル選択	「! AE 制御タイマ機能	□ 25 25 ms
D.F.F	EF K -199.9∼750.0°F	¦ ¦ሣ፫ 115~155°C -50~500°C	月5 絶対値上限警報動作	non! 神港標準	『! パ! ディレイタイマ 1	[] ;25 125 ms
自動/手動制御選択	F J -320~1800°F	7  145~190°C -50~500°C		⊼odR Modbus ASCII	「! fi⊇ ディレイタイマ 2	□250 ms
RUT 。 自動制御	F R 0~3200°F	/ ₽₽E 180~250°C -50~500°C	片	nodr Modbus RTU	タイマ動作時間単位選択	
	ԿF S 0~3200°F	/ /CF -18~25°C -58~932°F	[   待機付下限警報動作	通信速度選択	ñ! n□ 分	
AT/オートリセット実行/解除選択	<b>₽ B</b> 0~3300°F	/ 27F 5~45°C -58~932°F	├──	35 9600 bps	与Ec□ 秒	
	E F E -320~1500°F	! B∏F 25~80°C -58~932°F	イベント出力1選択	[] /92 19200 bps	自動調光機能選択	
円/ブロー AT/オートリセット実行	/ F T -199.9∼750.0°F	¦ <u>ዓ</u> ርርF 70~105°C -58~932°F	A. □ 温度警報	글용목 38400 bps	[= = = =  無効	
- 5ET AND - FULL PRES	F N -320~2300°F	/ /¿F 90~120°C -58~932°F	! P ループ異常警報	データビット/パリティ選択	IJ与E 有効	
入力種類選択	<i>PL 2F</i> PL-II 0~2500°F	/ /ЧF 115~155°C -58~932°F	PLL₽ 温度警報+ループ異常警報	8.000 8ビット/無し	表示器選択	
マルチレンジ入力	F C(W/Re5-26) 0~4200°F	/ / 7/F 145~190°C -58~932°F	イベント出力2選択	7.000 7ビット/無し	CH1 PV/SV 表示器 CH2 PV/SV 表示	器
<u>-</u>	<i>P</i> ; <i>F</i> Pt100 -199.9∼999.9°F	<i>¦ ⊋⊋F</i> 180~250°C -58~932°F	AL A□ 温度警報	8555 8ビット/偶数	PB CH1 PV CH2 PV	
<u>-199.9~400.0°C</u>	<i>』P「F</i> JPt100 -199.9∼900.0°F	小数点位置選択	<i>LP</i> ループ異常警報	7.E.႘ <sub>∩</sub> 7 ビット/偶数	ち台 CH1 SV CH2 SV	
_/J -200∼1000°C	₽/ □F Pt100 -300~1500°F	□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□	□ 日に日本 温度警報+ループ異常警報	8000 8 ビット/奇数	∠H∷ ¦ CH1 PV CH1 SV	
- □ [ R 0~1760°C	<i>』P</i> 「F JPt100 -300~900°F	□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□	25 ヒータ断線警報	7.a.d.d 7 ビット/奇数	로버글 CH2 PV CH2 SV	
Կ[ S 0~1760°C	닉글디유 4~20mA DC -1999~9999	□□□□□ 小数点以下 2 桁	PLH6 温度警報+ヒータ断線警報	ストップピット選択	与 ¦ P ¦ CH1 差分値(加算値) CH1 PV 真値	
5	☐2☐用 0~20mA DC -1999~9999	□□□□□ 小数点以下 3 桁	とPH6 ループ異常警報+ヒータ断線警報	ストップビット1	ら !P⊋ CH1 差分値(加算値) CH2 PV 真値	
EE	☐☐     0~1V DC -1999~9999	OUT2 動作選択	□ 日により 温度警報+ループ異常警報+ヒータ断線警報	□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□	戶 ;'与 ; CH1 PV 真値 CH1 差分値(加算	值)
「□ <u>「</u> T -199.9~400.0°C	☐☐5H 0~5V DC -1999~9999	<i>吊¦ -</i> □ 空冷(リニア特性)	正/逆動作選択	リモート/ローカル選択	P こち ! CH2 PV 真値 CH1 差分値(加算	值)
- N -200~1300°C	/_58 1~5V DC -1999~9999	□ / / і 油冷(1.5 乗特性)	HEA厂 逆動作(加熱)	<u> とっこと</u> ローカル	<u> </u>	
PL 2[ PL-II 0~1390°C	☐ I☐H 0~10V DC -1999~9999	□□□ 水冷(2 乗特性)	このに 正動作(冷却)	rEAS UE-1	「トラアラ CH2 差分値(加算値) CH2 PV 真値	
C(W/Re5-26) 0~2315°C	赤外線熱電対入力	警報 1~4 動作選択	設定値ロック選択	伝送出力選択	<u> </u>	值)
Pr _ Pt100 -199.9~850.0°C	; ;☐[ -18~25°C -50~500°C	[- - -  警報動作なし	ニニニー ロック解除	₽₩ PV 伝送	P 2 5 2 CH2 PV 真値 CH2 差分値(加算	值)
_!/P「厂 JPt100 -199.9~500.0°C	27E 5~45°C -50~500°C	片	Loc   ロック 1	らと SV 伝送	nonE 表示なし 表示なし	
₽/; Ft100 -200~850°C	/ 万□□ 25~80°C -50~500°C	/ 下限警報動作	Loc2 ロック2	AB MV 伝送		

SET



### 2. 配線 2.1 2ch 調節計仕様の場合



2.3 ポテンショ入力仕様の場合 CH1 入力 CH1 出力 ७—⁺ CH1 出力(\*)

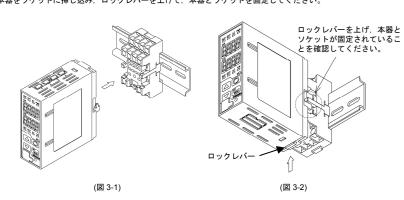
## 各仕様共通

(50Ω)を接続してください。

ポテンショ入力仕様 (\*): コンソールソフトのブロック機能で加熱冷却制御出力仕様または1入力2出力選択時有効。

# 電源電圧 (図 2.3-1) 3. 取り付け

本器をソケットに挿し込み、ロックレバーを上げて、本器とソケットを固定してください。



#### Shinko 神港テクノス株式会社

〒562-0035 大阪府箕面市船場東2丁目5番1号 TEL: (072)727-4571 FAX: (072)727-2993 -technos.co.jp

TEL: (072)727-3991 FAX: (072)727-2991 TEL: (048)223-7121 FAX: (048)223-7120